

## 平成 28 年度事業計画

### 基本方針

平成 28 年度は、従来どおり棟方志功顕彰事業である棟方志功記念館の管理運営、充実した作品群による展示活動を行うとともに、作品の保存、普及活動に積極的に取り組むものである。

さらに当年度は、東北六魂祭、棟方サミット並びに 27 年度末の北海道新幹線開業及び観光圏域拡大に伴う文化観光イベントが期待されることから、関係機関と連携のうえ、当該事業を実施するものである。

また、青森県立美術館との連携事業については、従来からの支援事業に加え、開館 10 周年記念「オドロイテモ、おどろききれない 森羅万象：棟方志功とその時代」展への出品等に協力し、本県の芸術文化の向上に貢献するものである。

### I 棟方志功顕彰事業

#### 1 記念館運営事業

##### (1) 作品展示

平成 28 年度の作品展示は例年どおり四期に分けて行い、その主な展示作品は次のとおりである。

##### ① 春の展示「柳緑花紅」

会期：平成 28 年 3 月 15 日（火）～6 月 12 日（日）

棟方志功の作品には動植物をモチーフにした作品が多くある。また、自然の風景を描いた作品も数多い。春の展示では「柳緑花紅」というタイトルで、あるがままの自然を描いた作品を主に展示する。

##### 【主な展示作品】

板画：釈迦十大弟子、柳緑花紅頌 など

倭画：御鷹々々図、柳緑花紅図 など

##### ② 夏の展示「富嶽頌」

会期：平成 28 年 6 月 14 日（火）～9 月 11 日（日）

富士山は棟方志功が板画や倭画、油絵などに好んで制作したモチーフであるが、その中に、詩人・草野心平が富士山を詠んだ詩をモチーフに、棟方が制作した「富嶽頌」という板画作品がある。夏の展示ではこの「富嶽頌」のほか、棟方が描いた富士山を中心に展示する。

##### 【主な展示作品】

板画：富嶽頌 など

倭画：富士山図（雲立頌、風然頌） など

油絵：黄富士山図、桃富士山図 など

##### ③ 秋の展示「欧米の旅」

会期：平成 28 年 9 月 13 日（火）～12 月 11 日（日）

棟方志功は昭和 34 年に初めてアメリカやヨーロッパを訪れた。以来、昭和 49 年に最後のアメリカ旅行までに合計 4 回アメリカを訪れている。秋の展示ではアメリカやヨーロッパを訪れた際、心に残った風物を描いた作品を主に展示する。

**【主な展示作品】**

板画：摩奈那波門多に建立すの柵、誕生の柵、ホイトマン詩集抜粋の柵 など

倭画：ニューヨーク近代美術館図、グリニッチビレッジ図 など

④ 冬の展示「父母に捧ぐ」

会期：平成28年12月13日（火）～平成29年3月12日（日）

棟方志功の作品には「父母上の捧ぐ」という副題がついた板画をいくつか制作している。また「哀父記」「悲母記」というエッセーを発表するなど、両親への想いは計り知れないものであった。冬の展示ではそのような棟方の想い窺えるような作品を主に展示する。

**【主な展示作品】**

板画：海山の柵、龍原頌 など

倭画：女人観世音讚描大施無畏之図 など

\*平成29年3月14日からは「平成29年・春の展示」を開催する。

(2) 開館及び休館

平成28年度の開館日数は331日とし、9月13日（棟方志功画伯命日）と11月3日（文化の日）は無料開館日とする。

例年、休館日は祝日及びねぶた期間中に当たる場合を除く毎週月曜日及び年末としているが、7月・8月は県内外から多数の来館者が予想されるため、休館日にも開館してきており、28年度も同様に開館する。

なお、年始は1月1日から開館し、年間の開館、休館日は別紙一覧表のとおりとする。

次に、平成28年度も来館者の利便を図るため、4月から10月の開館時間を午前9時とする。

平成28年度開館日一覧表

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
				休							休								休												
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
								休								休							休							休	
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
					休							休								休											
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
				休							休	無料														休					
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
			休														休							休							休
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
			無料			休							休								休										
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
											休								休							休		休	休	休	
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
																休															
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火			
					休							休								休							休				
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
					休							休															休				

◆展示カレンダー

・ 春の展示 柳緑花紅	3月15日(火)～ 6月12日(日)
・ 夏の展示 富嶽頌	6月14日(火)～ 9月11日(日)
・ 秋の展示 欧米の旅	9月13日(火)～12月11日(日)
・ 冬の展示 父母に捧ぐ	12月13日(火)～平成29年 3月12日(日)

◆無料開館日

9月13日（棟方志功画伯命日） 11月 3日（文化の日）

◆その他

棟方サミット 5月28日～29日  
 東北六魂祭 6月25日～26日  
 大人の休日倶楽部パス 6月23日～7月5日 11月24日～12月6日 1月19日～1月31日

## 2 作品保存普及事業

### (1) 作品貸出

平成 28 年度は次のとおり作品貸出を行い、広く棟方芸術の普及を図るものである。

- ① 青森県立美術館主催「青森県立美術館開館 10 周年記念『オドロイテモ、おどろききれない 森羅万象：棟方志功とその時代』展」  
会期及び会場：平成 28 年 4 月 16 日～6 月 5 日 青森県立美術館  
貸出作品：板画－華嚴譜、東北経鬼門譜、鐘溪頌、歡喜頌、湧然する女者達々、追開心経頌、捨身飼虎の柵 など  
倭画－青森風絵の図など  
油絵－初冬風景図、バラ花卉図、太陽花シリーズ など
- ② 千葉市美術館主催「河井寛次郎と棟方志功 日本民藝館所蔵品を中心に」  
会期及び会場：平成 28 年 7 月 6 日～8 月 28 日 千葉市美術館  
貸出作品：板画－十和田奥入瀬 C、亀田・長谷川邸の裏庭、歡喜自板像の柵、ベートーベン・チェアーの柵 など  
油絵－初冬風景図、雑園習作 など
- ③ 井原市立田中美術館主催「秋季特別展『棟方志功－平櫛田中を「先醒」と呼んだ板画家』」  
会期及び会場：平成 28 年 9 月 16 日～11 月 6 日 井原市立田中美術館  
貸出作品：板画－東北経鬼門譜、捨身飼虎の柵、天地救世の柵 など
- ④ あべのハルカス美術館主催「わだばゴッホになる 世界の棟方志功展」  
会期及び会場：平成 28 年 11 月 19 日～平成 29 年 1 月 15 日  
あべのハルカス美術館  
貸出作品：板画－星座の花嫁、ヴェニウス生誕、万葉譜、釈迦十大弟子、柳緑花紅頌 など  
倭画－禰舞多運行連々絵巻 など  
油絵－雑園習作、バラ花卉図 など
- ⑤ 一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社・青森市教育委員会主催「棟方志功賞版画展」への作品貸出  
会期及び会場：2 月上旬 青森市民美術展示館  
青森市文化スポーツ振興公社及び青森市教育委員会が主催する「棟方志功賞版画展」は小・中学生、高校生を対象とした板画作品の公募展であるが、当記念館では主催者からの依頼によって参考出品として棟方志功の板画作品を例年出品しており、28 年度で 29 回となる。  
作品貸出料については、棟方志功画伯の偉業をたたえ、青森市の板画芸術の振興と青少年の創造性の向上を図るための事業であることから、免除している。
- ⑥ 青森県立美術館内「棟方志功展示室」での作品展示  
当記念館では、青森県立美術館運営支援事業委託契約に基き、美術館内の「棟方志功展示室」展示業務を行っている。作品展示は概ね年間 4 回展示替えしており、展示テーマによっては、美術館の所蔵作品だけではなく当記念館の所蔵作品も展示するが、それらの展示作品は無償で提供、展示している。

### (2) 作品受贈

全国に散在する棟方作品のコレクターに対し、引き続きホームページ等により当記

念館への寄贈について広くPRするとともに、必要に応じて訪問調査、作品鑑定のう  
え棟方作品の収集に務めるものである。

(3) 作品修復

収蔵作品の劣化状況を調査のうえ、順次計画的な修復作業を専門家に依頼し、作品  
の保存に務めるものである。

(4) 賛助会員募集

当法人の設立目的に賛同し、協力してくれる個人または団体を広く募り、その会費  
を当法人の運営事業活動に充てるものである。

## II 青森県立美術館連携事業

青森県立美術館の開館にあたり、平成18年度から「事業連携等に関する協定」を締結のう  
え、所蔵作品の相互貸与及び棟方志功に係る展覧会の実施による棟方志功画伯の顕彰を強化  
するとともに、長年の美術館（記念館）運営のノウハウを活かした県立美術館の円滑な運営  
に寄与するために行う県立美術館業務を受託してきた。

平成28年度も引き続き同館との連携事業を推進することにより、青森県の芸術振興に寄与  
するものである。

1 運営支援事業

(1) 棟方志功画伯に係る研究及び作品展示に係る学芸業務

(2) 観覧料の徴収

(3) 受付・案内及び展示に係る監視等の管理指導  
キッズルームの管理に関する業務

(4) 情報発信

(5) その他事業連携等に関する協定に基づく運営業務

2 受付監視等事業

(1) エントランス総合案内、発券機による観覧券の販売、展示等の案内、電話での団体  
受付及び問い合わせ対応

(2) 作品及び観覧者の監視、展示室内の秩序の保持

(3) 図書室内でのレファレンス等対応

(4) キッズルームでの監視、秩序の保持

(5) 来館者への便宜の供与及び安全確保

## III 物品販売等事業

棟方作品をより身近に感じていただくため、また当記念館での観覧記念として、棟方作品  
の複製品を販売している。この複製品は当記念館が企画、制作しているオリジナル複製品と  
他社が企画、制作し当記念館での販売を委託されている受託複製品に大別されている。当記  
念館では来館者のみならず、他館展覧会に作品を貸し出す際に会場での棟方グッズ販売を積  
極的に働きかけ、増収を図っている。

## 収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,507,000	546,000	1,961,000	
基本財産受取利息	1,000	1,000	0	基本金利息
基本財産収入貸貸料	2,506,000	545,000	1,961,000	作品貸出料
特定資産運用益	19,000	63,000	△ 44,000	
特定資産収入利息	19,000	63,000	△ 44,000	作品購入基金利息
受取会費	1,495,000	2,025,000	△ 530,000	
賛助会員受取会費	1,495,000	2,025,000	△ 530,000	26年度実績同様
事業収益	91,684,000	65,001,000	26,683,000	
記念館運営事業収益	10,215,000	12,333,000	△ 2,118,000	観覧料過去5ヵ年実績平均の80%を見込む
運営支援事業収益	16,900,000	9,583,000	7,317,000	青森県立美術館運営支援業務受託
受付監視等事業収益	54,024,000	32,995,000	21,029,000	青森県立美術館受付監視等業務受託
物品売払収益	8,776,000	8,387,000	389,000	オリジナル複製品 27年度実績見込み同様
受託品販売受取手数料	1,769,000	1,703,000	66,000	他社受託複製品 27年度実績見込み同様
受取補助金等	7,500,000	7,500,000	0	
青森県補助金収益	7,500,000	7,500,000	0	棟方志功記念館運営費補助金
雑収益	8,000	15,000	△ 7,000	
雑収益	8,000	15,000	△ 7,000	自動販売機手数料
<b>経常収益計</b>	<b>103,213,000</b>	<b>75,150,000</b>	<b>28,063,000</b>	
(2) 経常費用				
事業費	105,706,000	93,107,000	12,599,000	
役員報酬	2,535,000	2,535,000	0	専務理事報酬
給料手当	10,539,000	10,356,000	183,000	職員2名
臨時雇賃金	56,366,000	37,551,000	18,815,000	嘱託職員3名、記念館及び県立美術館パート職員
退職給付費用	837,000	837,000	0	職員2名
福利厚生費	6,332,000	4,717,000	1,615,000	社会保険料等
旅費交通費	100,000	100,000	0	作品受贈等
通信運搬費	1,487,000	1,825,000	△ 338,000	作品運送展示替え等
減価償却費	3,802,000	4,496,000	△ 694,000	記念館建物等
消耗品費	1,926,000	2,102,000	△ 176,000	事務用品等
修繕費	300,000	300,000	0	記念館施設修繕
印刷製本費	670,000	1,337,000	△ 667,000	PRポスター等
燃料費	2,314,000	2,173,000	141,000	冷暖房燃料等
光熱水費	3,213,000	3,356,000	△ 143,000	電気料等
賃借料	930,000	858,000	72,000	事務機器リース等
保険料	670,000	550,000	120,000	作品運送展示一貫保険等
諸謝金	40,000	40,000	0	生け花奉仕団体謝礼金
報償費	80,000	140,000	△ 60,000	来賓及び作品寄贈者への贈呈品
物品仕入	2,324,000	5,244,000	△ 2,920,000	販売用複製品に係る製作及び仕入代金
租税公課	4,488,000	5,718,000	△ 1,230,000	消費税額等
広告料	42,000	64,000	△ 22,000	求人広告
委託費	6,470,000	8,567,000	△ 2,097,000	清掃及び警備等
雑費	241,000	241,000	0	口座振込手数料等
管理費	5,797,000	6,154,000	△ 357,000	
役員報酬	883,000	915,000	△ 32,000	評議員、理事及び監事
給料手当	133,000	131,000	2,000	専務理事、職員2名管理業務按分額
福利厚生費	16,000	18,000	△ 2,000	職員2名管理業務按分額
会議費	74,000	100,000	△ 26,000	評議員会及び理事会
旅費交通費	347,000	347,000	0	鎌倉土地売買に係る旅費等
減価償却費	1,353,000	1,353,000	0	旧板画館建物等
通信運搬費	205,000	290,000	△ 85,000	賛助会関係等
交際費	100,000	100,000	0	慶弔費等
消耗品費	200,000	222,000	△ 22,000	事務用品等
印刷製本費	284,000	382,000	△ 98,000	賛助会関係等
光熱水費	288,000	288,000	0	旧板画館電気料等
報償費	150,000	200,000	△ 50,000	お歳暮等
租税公課	1,496,000	1,540,000	△ 44,000	旧板画館固定資産税等
支払負担金	61,000	61,000	0	全国美術館会議等年会費
委託費	137,000	137,000	0	賛助会関係等
雑費	70,000	70,000	0	口座振込手数料等
<b>経常費用計</b>	<b>111,503,000</b>	<b>99,261,000</b>	<b>12,242,000</b>	
当期経常増減額	△ 8,290,000	△ 24,111,000	15,821,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 8,290,000	△ 24,111,000	15,821,000	
一般正味財産期首残高	1,785,538,162	1,809,649,162	△ 24,111,000	
一般正味財産期末残高	1,777,248,162	1,785,538,162	△ 8,290,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	1,777,248,162	1,785,538,162	△ 8,290,000	